



東京都・三鷹市・鷹南学園



地域で創る 「鷹南っ子ジャンプアッププラン」 の取り組み

平成27年7月31日 鷹南学園コミュニティ・スクール委員会

1

鷹南学園について

三鷹市7つのコミュニティ・
スクールのうちの1つ

敷地が異なる中学1校、
小学校2校で「分離型」の
小・中一貫の学園を構成
＝三鷹第五中、中原小・東台小



三鷹市は住民協議会による住区を住民自治の基本とするが、鷹南
学園は住区と学園区が一致し、学校と地域が連携しやすい環境

学園区内には代々の農家等と戸建て住宅、大型集合住宅、
都営住宅等が混在し、会社員家庭、自営業家庭など多様な構成

2

2009年小中一貫型コミュニティスクールを開園



2009年度 小・中一貫教育校として、中原小学校・東台小学校・第五中学校の3校を学園としてスタート。

- 3校の校長のうち一人を「学園長」、残りの二人の校長を副学園長とし、学園3校全体の学園経営へ
- 各3校の学校運営協議会委員をコミュニティ・スクール委員（以下CS委員）として3校すべてに目配りをする、保護者・地域の参画を推進する担当へ

3

小中3校の足並みが揃わず、大苦戦！

もともとの地域は小学校2校を別々の学校支援団体が活発に支援していた。

- ・ 小学校2校の保護者・教員とも意識が異なり、地域団体もそれぞれが別々に2校を支援。
- ・ 小学校2校の足並みは揃わず、中学校は小学校とは違いますと言う・・・。

**小・中一貫教育も地域の教育力を活かす
コミュニティスクールも絵に描いた餅に思われた！**

**学力面の小中接続、中学入学後のギャップの解消
中学生に保護者・地域の大人の目を届かせること
大切なのはコレ！**

4



とにかく3校合同の取り組みを始めてみた！

子どもたちと保護者・地域の方にも小・中一貫
コミュニティスクールの一体感を感じていただきたい



鷹南コンサートの開催



反対を押し切った開催だったが

自分の子どもだけでなく、中原小・東台小・五中の3校の
児童・生徒の成長に心からの拍手をいただきました



学園集会

三校の児童・生徒が
一堂に集まる学園集会
をなんとか開催

三校の児童・生徒、
民生委員等地域の人が
互いの学校へ行く
挨拶運動を実現



学園あいさつ運動

地域行事への児童・生徒の参加・連携を活発化

住民協議会主催の「コミュニティ運動会」で3校の児童・生徒全員が知っている共通語＝「南中ソーラン」を踊る



「コミュニティまつり」、「丸池わくわく祭り」等の地域行事に中原小・東台小の児童が集い、五中生がボランティアで活躍

I 保護者・地域の連携で中学校の危機を救う

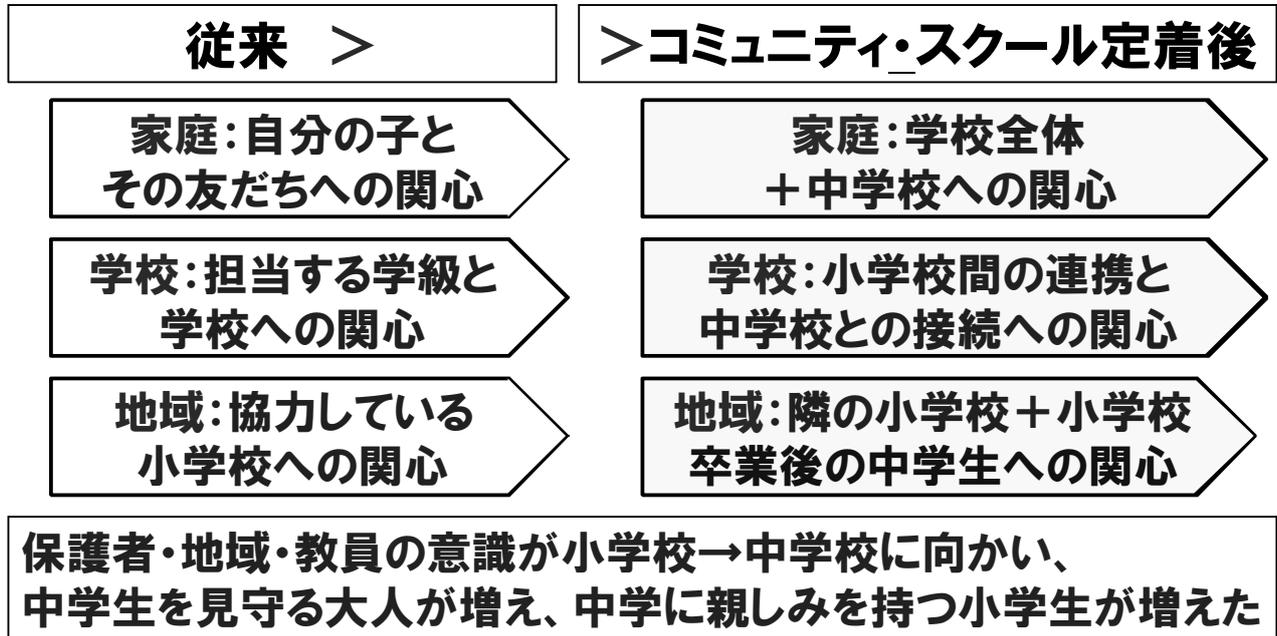
2011年度 第五中学校が一部生徒の授業中の教室外への立ち歩き、器物破損等で校内が混乱

- 9月：CS委員会で中学校の状況を察知、今後の解決策を検討
- 10月：学校・PTA経由で「五中見学ツアー」開催決定
- 11～12月：五中・中原小・東台小の保護者、地域協力者による複数回にわたる校内巡回・見守り実施
～中学生にとって、小学生時代からの顔見知りによる声掛け～
- 2012年1月：五中 校長副校長、主幹教諭、学年主任と保護者・地域・CS委員によるさらなる解決策の話し合い
⇒以降、校内は落ち着きを取り戻し、鎮静化へ。



小・中一貫コミュニティスクールとして走り出した鷹南学園

鷹南学園3校の一体感が生まれ始めると
前向きな変化が学校・家庭・地域に切り始めた

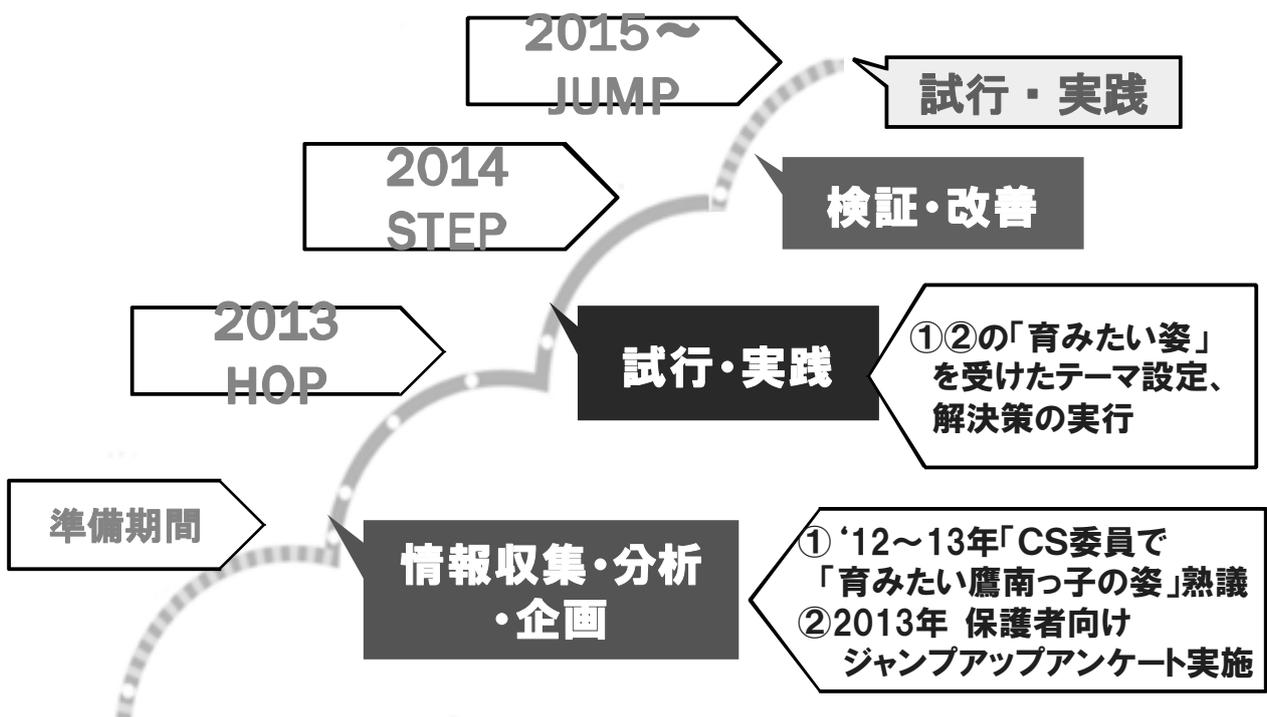


9



地域で創る「鷹南っ子ジャンプアッププラン」の取組

鷹南3校の子どもたちの成長を学校・家庭・地域で力を合わせて応援するプラン

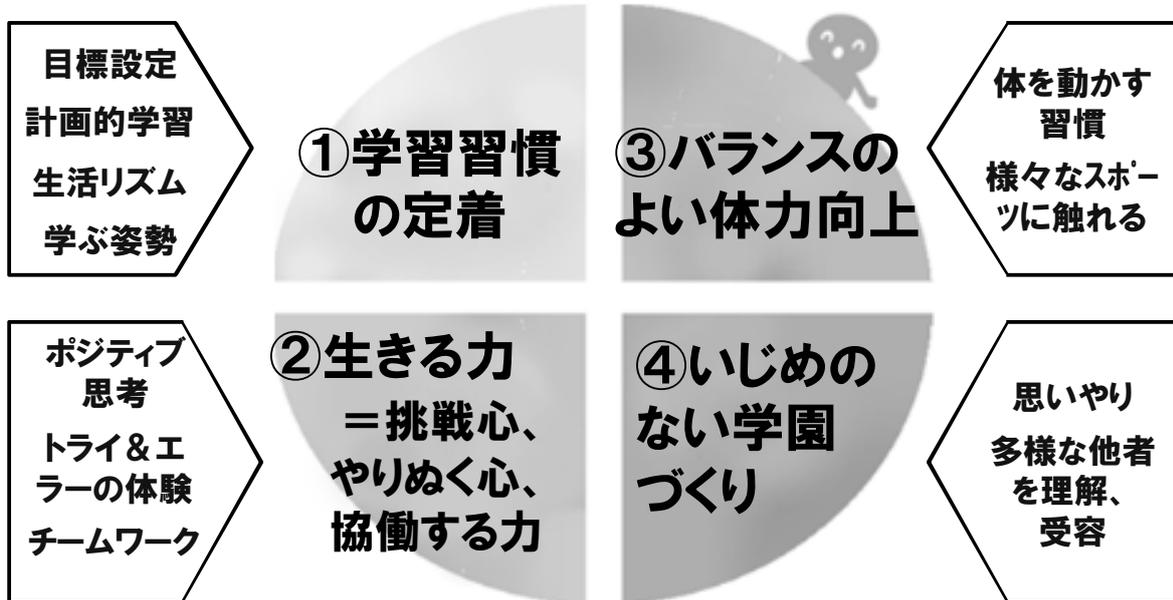


10



「熟議」と「ジャンプアップアンケート」から見えた課題

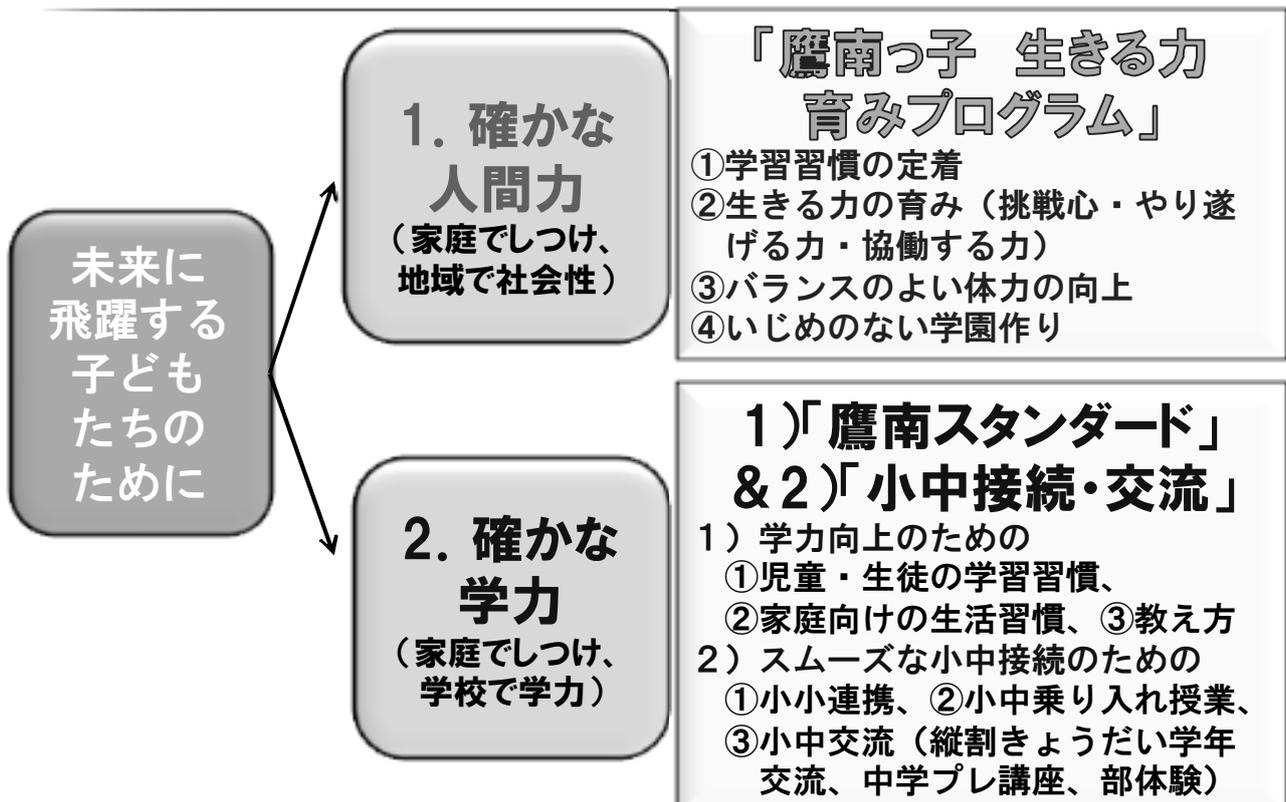
熟議とアンケートの結果、取り組むべき課題は4テーマに絞られた



11



家庭・地域・学校で考えた「育みたい子どもの姿」



12



「鷹南っ子 生きる力育みプログラム」の実践

① 学習習慣の定着

学習目標を提示

- × 目に見える目標の提供
親子、友達との取組を励みに
- × 計画を立て学習する習慣を
- × 達成感のあることを



漢字検定の実施

- + 学園会場
- + 全児童・生徒対象
- + ⇒約180人が受験
- + 保護者、地域も対象
- + ⇒大人25人、親子受験20組

> アンケートの声

- ・ 子どもが積極的に
真剣に勉強に取り組んだ
- ・ 親子で目標に向けて
一緒にがんばれた

13



「鷹南っ子 生きる力育みプログラム」の実践

② 挑戦心・やり遂げる力・協働する力の育み

～「スポーツメンタルトレーニング」でやる気と自信を～



- 東海大学大学院よりメンタルトレーニングの
専門家を招へい
- 小学生には運動会・学芸会・受験前等の
行事前に、目標設定、ドギマギ防止、モチベー
ションアップ、団結力アップ等のスキル伝授
- 児童生徒・保護者・教員の共通言語に



14



「鷹南っ子 生きる力育みプログラム」の実践

② 挑戦心・やり遂げる力・協働する力の育み ～「異文化体験プログラム」でトライ&エラーの経験を～



- 近隣に大学が多い強みを活かし、留学生と交流
- 「手打ちうどん」「餅つき大会」「留学生の郷土料理」などを小中学生と留学生混合の縦割り班単位で一緒に作る交流体験。
- 初めての経験、初対面の人」との出会いを楽しく乗り越える経験

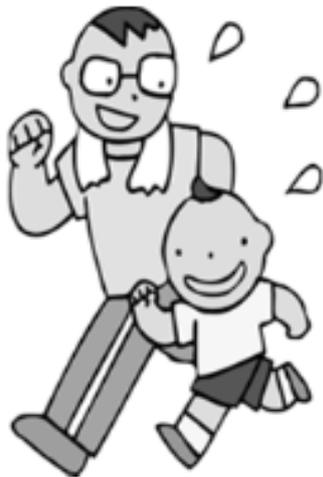


15



「鷹南っ子 生きる力育みプログラム」の実践

③ バランスのよい体力の向上 ～「鷹南体力測定フェスタ」での記録が楽しい目標に～



- 握力、背筋力、ジャンプ力、柔軟性など健康維持と体力向上に不可欠な体力を測定
- 鷹南学園区の既存の恒例イベントと+タイアップしたイベントとして定例化
- 恒例化することで、自分の目標に



16

II 「鷹南っ子 生きる力育みプログラム」の実践

④ いじめをなくすための学園の取り組み

「多様な個性」を受け入れる、「違うこと」を受け入れる経験
「自分と同じなんだという気づき」・・・話し合いと体験の提供

異文化体験プログラム



子ども熟議

児童会・生徒会発表



17

III 「小・中一貫コミュニティスクール化 7年目に」

① 「小・中接続・交流」

乗り入れ授業



中学校の教員が小学校の算数授業へ
小学校の教員が中学校の数学授業へ
乗り入れて、T.T.で授業を行っています。

学園研究授業



教科・領域に分かれ、
それぞれの分科会に3校の
教員が入り、研究を推進

18

III 「小・中一貫コミュニティスクール化 7年目に」

② 「小・小交流」

自然教室（小・小交流）



19

III 「小・中一貫コミュニティスクール化 7年目に」

③ 「きょうだい学年交流」

毎年、決まった学年同士で、様々な交流活動を行っています。

幼・保一小5 交流



小1一小6 交流



20

III 「小・中一貫コミュニティスクール化 7年目に」

③「きょうだい学年交流」

毎年、決まった学年同士で、様々な交流活動を行っています。

小2一中1交流



小3一中2交流



小4一中3交流



21

III 「小・中一貫コミュニティスクール化 7年目に」

部活動体験(6年生)

6年生は、中学校へ行って、希望した部活動を体験します。



22

III 「小・中一貫コミュニティスクール化 7年目に」

中学校プレ講座(6年生)

6年生は、中学校の先生による授業の体験もします。

英語科



数学科



23

III 「小・中一貫コミュニティスクール化 7年目に」

保護者・地域が学校と一緒に子どもを育むと、「学力向上」と「中学校の安定化」により地域の安心感が高まる。

年度	東台小	中原小	2校平均
26	64.5%	85.9%	76.4%
25	63.4%	80.8%	72.5%
24	54.5%	82.9%	68.0%
23	65.9%	85.0%	76.2%
22	67.2%	84.0%	77.4%
21	67.9%	81.8%	75.3%
20	53.7%	89.2%	75.1%
19	58.1%	82.3%	70.6%
18	61.3%	77.0%	70.5%
17	53.0%	89.6%	71.4%
16	59.7%	76.7%	69.6%
15	54.9%	81.8%	68.8%

□私立中学進学率の高い東台小の五中進学率は、開園前56.8%→63.9%へと113%増加

□中原小の五中進学率は、開園前82.8%→83.4%へと101%の増加

と三鷹五中への信頼感、9年間の小中一貫教育への信頼感が向上した。

24

鷹南学園

これらの取組みを通して、鷹南学園では、
先人の築いた歴史に思いをはせて
地域に根ざし、夢と希望をもち、
ともに学び、未来を切り拓き、
国際社会を担う主体的で想像力あふれる
児童・生徒を育てていきます。

- END-

地域が支援する 直東学園のキャリア教育



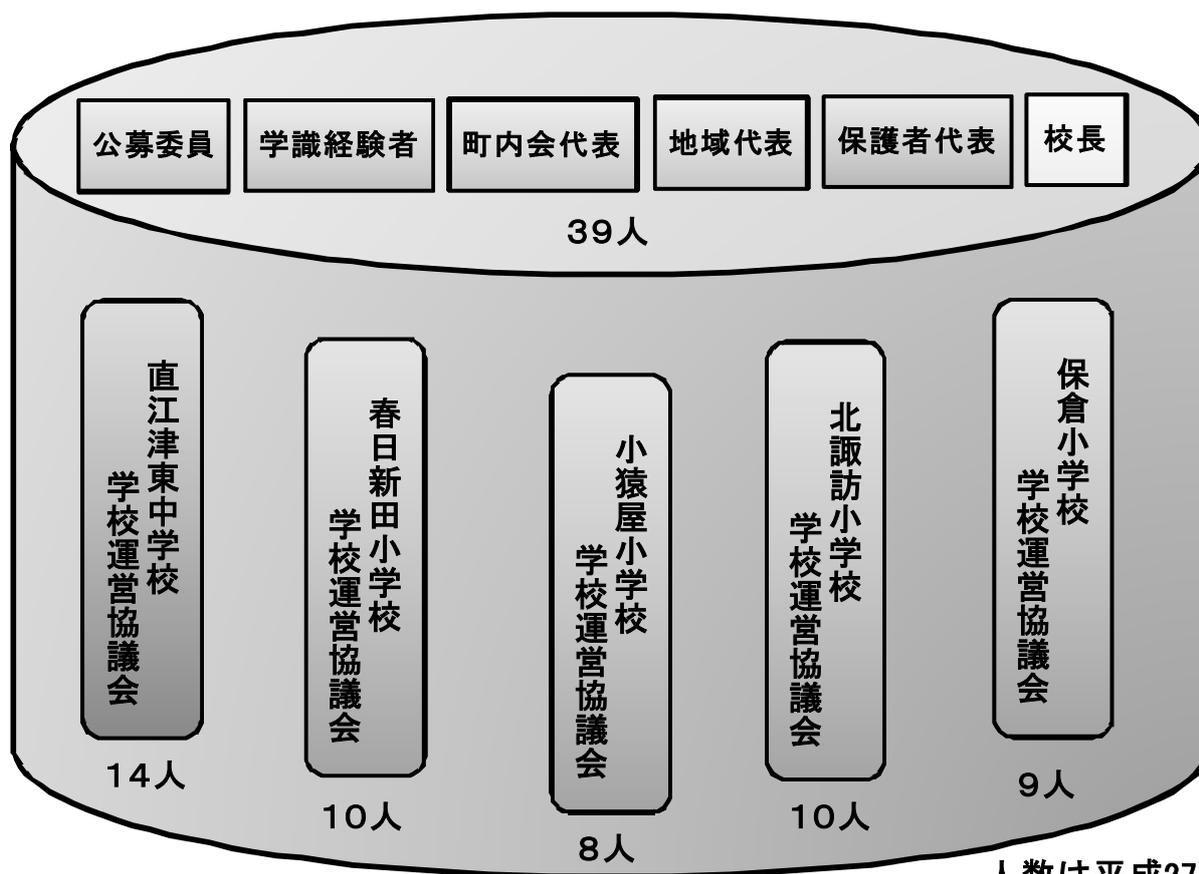
直江津東地域学園運営協議会

説明の流れ

- 1 直東学園運営協議会
- 2 直江津東地域青少年育成会議
(学校支援地域本部を含む)
- 3 9年間のキャリア教育づくりから
小中一貫した教育課程へ
- 4 課題と今後の方向

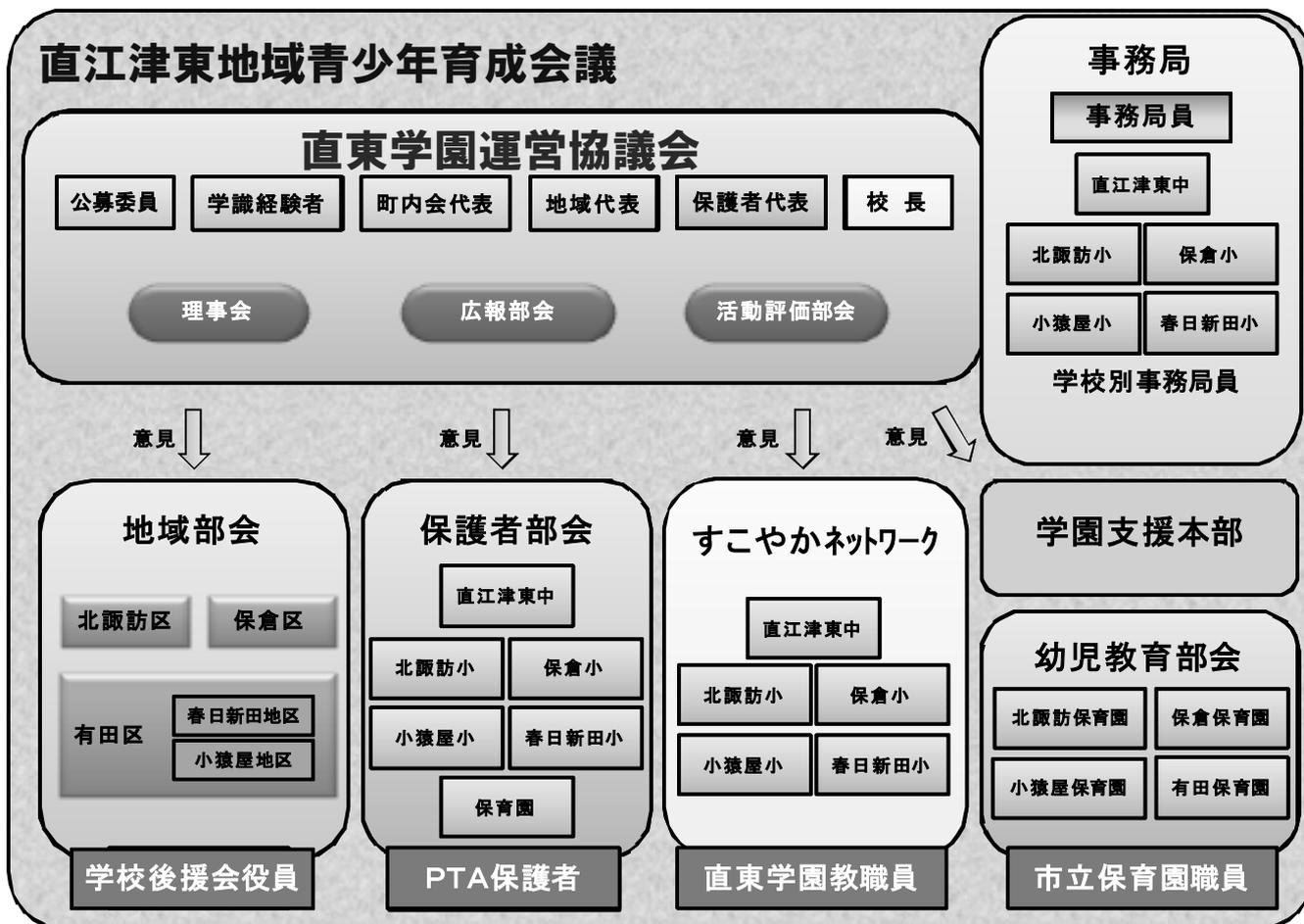


直江津東地域学園運営協議会(直東学園運営協議会)



人数は平成27年度

直江津東地域青少年育成会議



直江津東地域学園(直東学園)運営協議会

- ・学校、家庭、地域が一緒になって、よりよい学校をつくるために協議する合議制の組織

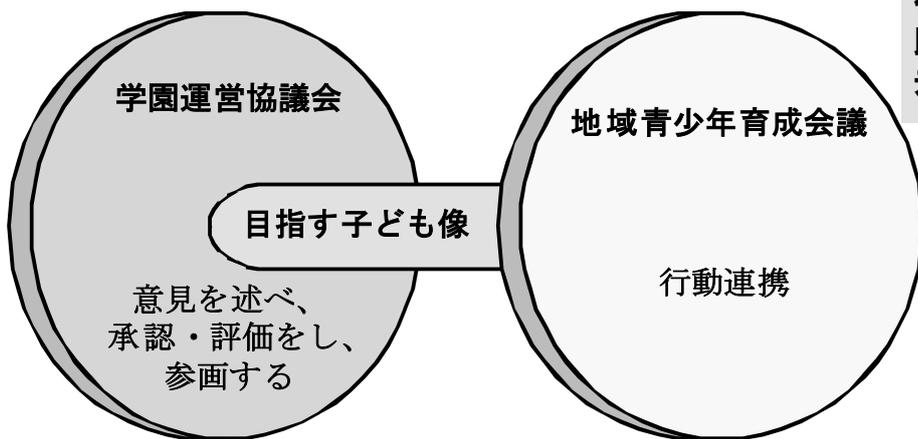
直江津東地域青少年育成会議

- ・地域の子どもを地域で育てる活動
- ・学校支援活動(学校支援地域本部)

直東学園

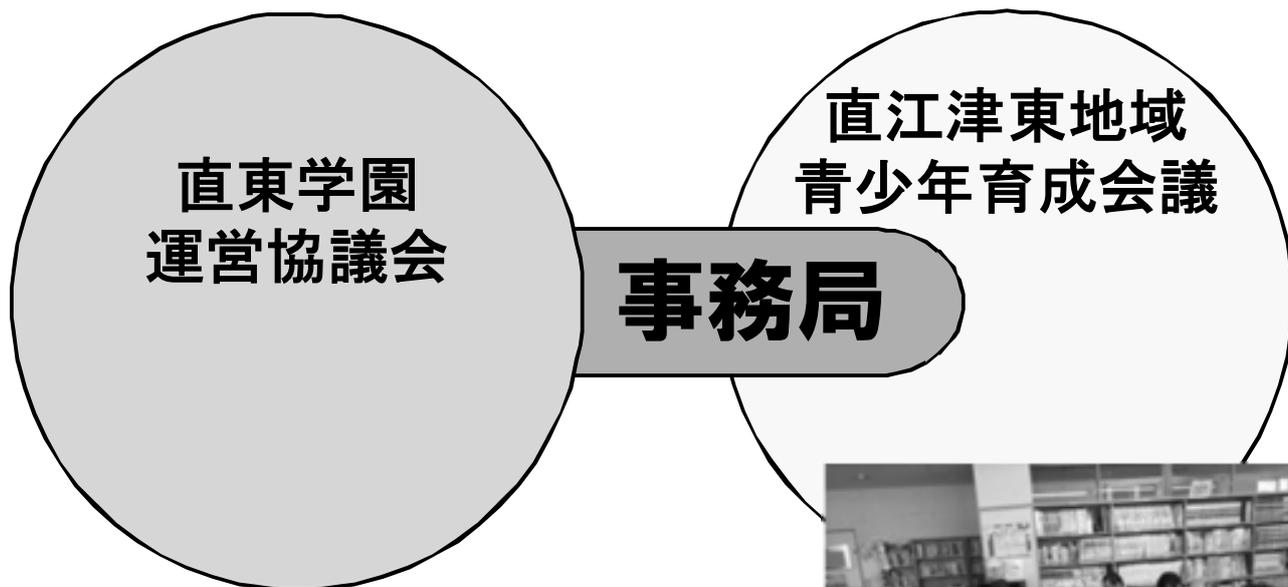
目指す子ども像

一人ひとりが個人として自立しながらも、互いの存在と評価を認め合い、助け合いながら、地域の未来を担う人を育てます



目標を共有し、車の両輪となって活動

運営の要は事務局



事務局は、2つをつなぐ太いパイプ役



学園運営協議会

年2回の協議会

4月：今年度の方針と年間計画を決め、各校の取組を確認

3月：今年度の協議会評価と次年度の基本方針の承認

* 各校では、年数回学校運営協議会を実施する。



理事会

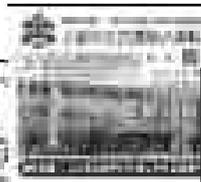
地域とともに学校をつくるリーダー的な役割をもつ



地域の思いを知り、教育理念を創る

組織を意識づける

全教職員・委員の名刺を作成
(直東学園版)



5校の教育が見える
直東学園要覧を作成

直東学園



広報部会

学校の実情や活動をつたえる

直東学園ニュースの発行(年10回)

学園運営協議会・地域青少年育成会議・すこやかネットワーク



HPに掲載

のぼり旗の作成(あいさつ運動・ノーメディア運動)

活動評価部会

- ・ 部会の委員が学校を訪問し、一緒に関係者評価を
- ・ 学校と家庭・地域の在り方を評価
- ・ 改善プランを作成し、次年度計画策定の資料に
- ・ 学園運営協議会にまとめて報告



保倉小学校



直江津東中学校

直江津東地域青少年育成会議

直東学園運営協議会

公募委員 | 学識経験者 | 町内会代表 | 地域代表 | 保護者代表 | 校長

理事会

広報部会

活動評価部会

事務局

事務局員

直江津東中

北諏訪小

保倉小

小猿屋小

春日新田小

学校別事務局員

意見 ↓

意見 ↓

意見 ↓

意見 ↓

地域部会

北諏訪区

保倉区

有田区

春日新田地区

小猿屋地区

学校後援会役員

保護者部会

直江津東中

北諏訪小

保倉小

小猿屋小

春日新田小

保育園

PTA保護者

すこやかネットワーク

直江津東中

北諏訪小

保倉小

小猿屋小

春日新田小

直東学園教職員

学園支援本部

幼児教育部会

北諏訪保育園

保倉保育園

小猿屋保育園

有田保育園

市立保育園職員

直江津東地域青少年育成会議

地域部会

北諏訪区

保倉区

有田区

春日新田地区

小猿屋地区

町内会長協議会代表者会

- ・あいさつ運動
- ・地域行事に子どもが参加、参画
- ・子どもの見守り活動
- ・子ども会の支援
- ・青少年育成団体への支援

学校後援会役員

保護者部会

直江津東中
PTA

北諏訪小
PTA

保倉小
PTA

小猿屋小
PTA

春日新田小
PTA

保育園
保護者会

保護者会代表者会

- ・ノーテレビノーゲームデー運動
- ・PTA交流活動と情報連携
- ・家庭教育に関する講演会や研修会の実施
- ・PTC活動
- ・教育ハンドブックの編集

PTA保護者

すこやかネットワーク

直江津東中

北諏訪小

保倉小

小猿屋小

春日新田小

部長会

学力向上部会

特別支援教育部会

キャリア教育部会

生徒指導部会

- ・学力向上が共通の目標

直東学園教職員

学園支援本部

学校支援活動、授業ボランティア、キャリア教育、クラブ、部活動

幼児教育部会

北諏訪保育園

保倉保育園

小猿屋保育園

有田保育園

園長会

- ・園間の情報連携と研修
- ・協働活動
交通安全指導
- ・保小職員の学び合い
- ・保小のカリキュラムや園児情報などの連携

市立保育園職員

学校支援

- 教育活動を支援

ボランティアで、授業が変わる → 教育の質の向上



昼休みの読み聞かせの会



家庭科でミシン指導を支援

学校支援

- 教育活動を支援



小規模校が合同で行うキャンプファイアを支援

- クラブ・部活動支援

小学校のクラブ活動で住民が講師に
全国大会出場者への指導支援



情報の共有と学校づくり

- ・ 県教育庁上越教育事務所訪問(春・秋)



- ・ すこやかネットワーク部長会
に事務局長等が毎月出席



教師とともに学ぶ

- ・平成24年度 生徒指導「学級集団づくりの理論と実際」
河村茂雄先生(早稲田大学大学院教授)
- ・平成25年度 学力向上「言語力と記述力を育むために」
輿水かおり先生

(玉川大学教師教育リサーチセンター客員教授)

「小学校のキャリア教育」

三村隆男先生(早稲田大学大学院教授)

- ・平成26年度 学力向上「標準学力検査等の指導への有効活用」
納富涼子先生(応用教育研究所 研究主任)
- 佐藤賢治先生(上越教育大学特任教授)

特別支援「キレイやすい子の理解と対応
—学校におけるアンガーマネージメントの活用—」
本田恵子先生(早稲田大学大学院教授)



青少年育成活動

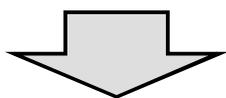
- リーダーシップを育成
中学生が地域の行事に参画
有田こどもフェスタ(夏・秋)
- 教育ハンドブックの編集
家庭教育、地域の教育の向上
を目指す



直東学園の特色ある教育

キャリア教育を中核にした生き方教育

- キャリア教育で、夢や志のある若者を育てる
- 生活科、総合的な学習等のカリキュラム開発
- 地域の教育資源を活用
- 直東学園運営協議会による学校づくり
- 直江津東地域青少年育成会議との連携



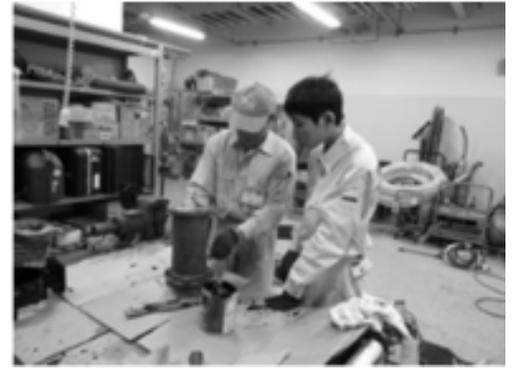
教育課程の改善

- 小中一貫教育の推進

地域とともに、9年間の
キャリア教育カリキュラム
づくりを進め、小中一貫の
教育課程づくりへと広げ
たい。

キャリア教育で育成したい資質能力

- ・人間関係形成・社会形成能力
- ・自己理解・自己管理能力
- ・課題対応能力
- ・キャリアプランニング能力
- ・郷土愛



キャリア教育を中核にした教育課程の創造

区分	前期				中期				後期	
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年前期	2年後期	3年
キャリア教育期	基礎能力育成期		基本スキル育成期						進路模索期	進路選択期
目指す子ども像	あいさつや返事ができる子ども		場に合ったあいさつや返事ができる子ども		 立志式				学校全体を考えた上で、積極的に人間関係を築こうとし、自ら生活を改善するとともに、自分の目標に向かって学習することができる。	
育みたい資質・能力	認識能力		計画実行能力		人間関係形成力、社会形成能力、課題解決能力		自他理解、自己管理能力	自他理解、将来設計能力	自己管理能力、キャリアプランニング能力	社会形成能力、課題対応能力



2分の1成人式

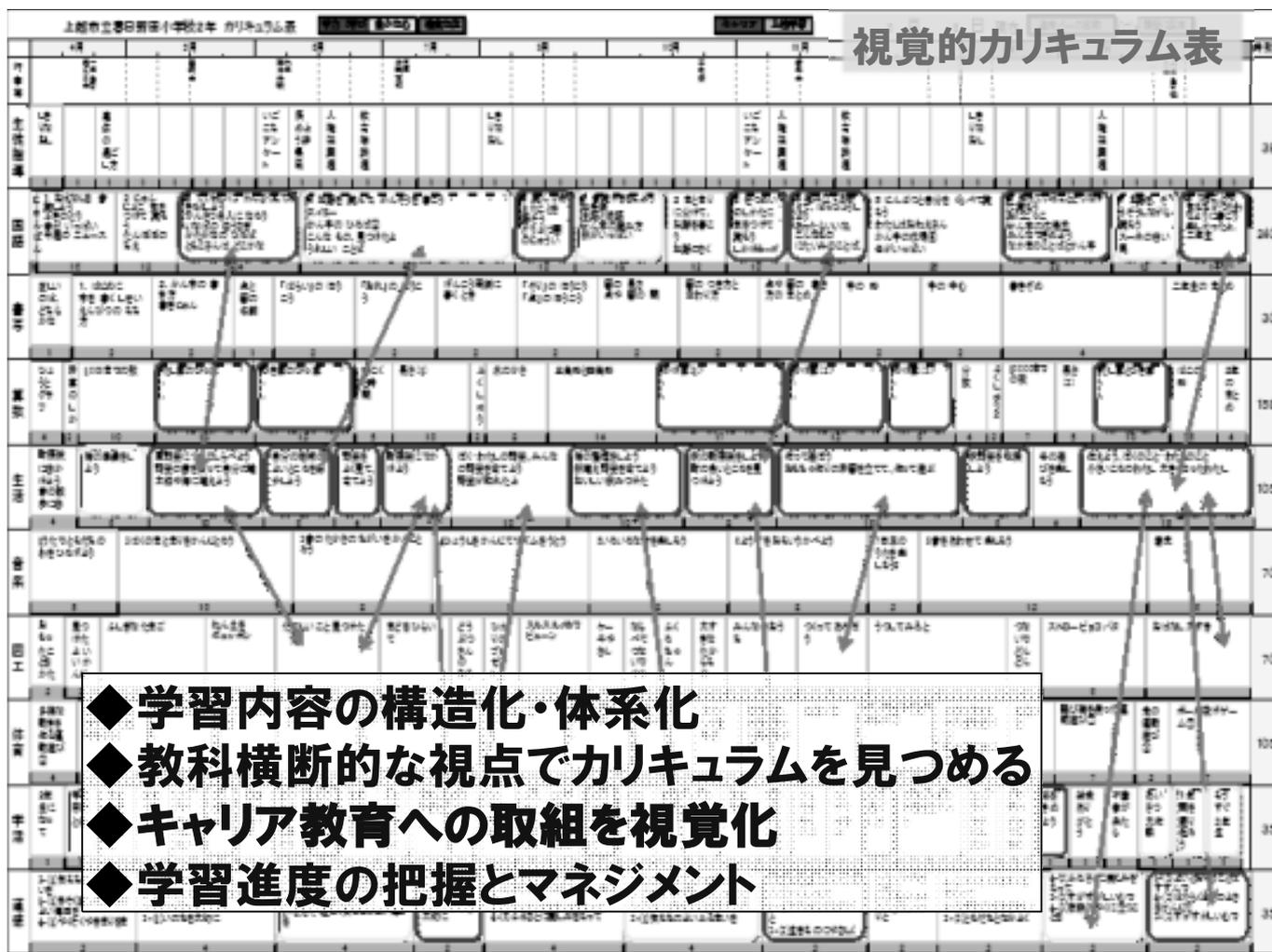
生活科・総合的な学習を中心にキャリア教育の単元開発

9年間のキャリア教育で夢や志のある若者を育てる学習は、教科横断的な活動を含め、生活科・総合的な学習を中心を行う。

例えば・・・

	育みたい 資質・能力	主な活動	関わる人	備考
1学年		動物と私	親、獣医、産婦人科医	命、飼育動物
2学年		私と野菜	農家、栄養教諭、調理員	栽培と食
3学年		私たちのまちの 再発見	地域のために尽くす人	地域の人財
4学年		花いっぱい運動	NPO関係者	2分の1成人式
5学年		ともに生きる	自然、人の命、社会 (ボランティア)	命と自分
6学年		私たちのまちの歴史とこれから		取り組みたいまちづくり
1学年		職場見学		市内の事業所
2学年		キャリアスタート ウィーク		学区内の事業所
3学年		自分の生きる道		

・社会とかかわる
・人とかかわる
・自分を見つめる



キャリア教育を支援

地域の人々の生き方に学ぶ

教員の思いを受け止め、事務局員や地域コーディネーターなどが、地域の人財を探し、子どもが学ぶ機会に！



北諏訪小学校
校区内出身のオペラ歌手
高橋 維さんのミニリサイタル

小猿屋小学校
美容師さんにお話を聞く。



キャリア教育を支援

学園支援本部が、学区内で事業所や人を探し、学校とつなぐ

小学校では

- 5年 マスコミで働く人・職場訪問
- 6年 いじめ見逃しゼロ集会 他

直江津東中学校では

- 1年 職場見学・職業観の育成
- 2年 職業講話・職場体験



5年 マスコミ訪問



6年・中1年 いじめゼロ集会



中2年 職場体験

キャリア教育を支援

生徒を1ランク上の成長へ → 地域と町内会長が動いた

立志式

↓
地域が主催



町内会長が出席し、バッチを渡す

課題

- 1 学校の考えを受け止め、事務局を中心に地域の力を生かして、相当数の協力いただける事業所や人財の確保をすることが必要になる。
- 2 5つの学校では、規模、環境、課題等が異なることから、各校の特色に合った自校のキャリア教育のカリキュラムを編成する必要がある。
- 3 キャリア教育の単元開発では、各教科等との関連的、合科的な活動や学校間連携等も視野に入れていく。
- 4 キャリア教育のカリキュラム編成を基に、小中一貫教育としての教育課程の編成をする必要がある。

今後の方向

1 地域による学校支援の推進

学園運営協議会と地域青少年育成会議が連携して、カリキュラムづくりから活動や評価まで、教員への助言、事業所や人財の確保などの支援をしていく。

2 できることから始めるキャリア教育

学園としての目標を共有し、自校の実態やこれまでの取組を生かしたキャリア教育のカリキュラムを、実践を通して編成する。

3 キャリア教育部会を核にしたカリキュラムづくり

視覚的カリキュラム表を生かして、小中一貫したキャリア教育のカリキュラムを編成する。

4 教頭、教務主任、研究主任の出番

教頭、教務主任、研究主任を中核に、視覚的カリキュラム表を生かして、小中一貫教育としての教育課程を編成する。

